

## (5) 血液内科

### 1. 診療科概要

2012年度は週2回外来（水曜午後：慶應義塾大学横山健次講師、金曜午前：定平健副医長）を開きました。2013年度より外来患者数の増加に対応し、診療枠を週3回（月曜午前、水曜午後、金曜午前）に増やしております。血液異常に対するコンサルトは随時受け付けており、骨髄検査も検査部菊池技師・池田技師の協力を得て迅速に行っております。毎週水曜日に血液内科ミーティングで症例検討を行い、毎週木曜日にコメディカルの参加する病棟カンファレンスで情報共有と治療・看護計画を行っております。

多発性骨髄腫や悪性リンパ腫等の疼痛緩和を必要とする症例は緩和ケア科による併診、化学療法開始前には歯科口腔外科による口腔内感染巣スクリーニング・口腔ケア指導、ADLの低下した症例は積極的にリハビリを行い、チーム医療を実践しています。

また、後期研修医が血液疾患の入院治療に参加することで、血液疾患の治療について研修医の教育指導を行っております。

### 2. 人事

慶應義塾大学横山健次講師は2001年より当院血液内科外来を非常勤で担当しております。

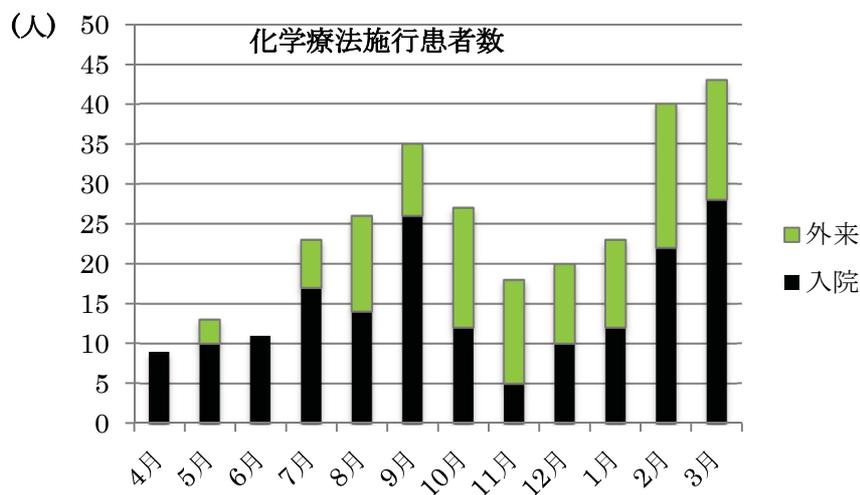
2012年4月1日より定平健副医長が赴任し、常勤医1名となりました。

### 3. 診療実績

2012年度の外来患者数は延べ584名、入院患者数は延べ78名でした。

骨髄検査は62件、治験審査委員会への臨床試験申請は4件、剖検は1件でした。

化学療法施行患者数（2012年4月～2013年3月）



造血器腫瘍症例数(うち新患)

悪性リンパ腫 16名 (14名)

多発性骨髄腫 9名 (5名)

骨髄異形成症候群 11名 (7名)

急性白血病 2名 (2名)

慢性リンパ性白血病 2名 (2名)

(文責 血液内科副医長 定平 健)